

長野県
調査票番号

産業廃棄物等に関する意識調査票(その3)

本票も産業廃棄物実態調査票と併せて記入後、ご返送下さい。
 なお、産業廃棄物の発生がない場合は、本票の回答及び返送は不要です。

1. 発生抑制、減量化、リサイクル等の目標値について

貴事業場では将来、産業廃棄物の発生量の抑制、中間処理による減量化、リサイクルによる資源化等はどの程度可能でしょうか？ 下記の例に従い記入して下さい。なお、産業廃棄物の種類が多岐にわたる場合は、排出量の多い種類を記入してください。

1) 発生量の抑制

産業廃棄物の種類	R5 年度	R7 年度	R12 年度
(記入例) 廃プラスチック類	100%	90%	80%
	100%	%	%
	100%	%	%
	100%	%	%

注) 発生量の抑制について
 令和5年度の発生量を 100 とした場合の令和7年度及び 12 年度の比率を記載して下さい。
 他の年度で目標値を設定している場合には、その年度と比率を記入して下さい。

2) 中間処理による減量化

産業廃棄物の種類	R5 年度	R7 年度	R12 年度
(記入例) 無機性汚泥	100%	105%	105%
	100%	%	%
	100%	%	%
	100%	%	%

注) 中間処理による減量化について
 令和5年度の発生量を 100 とした場合の令和7年度及び 12 年度の比率を記載して下さい。
 他の年度で目標値を設定している場合には、その年度と比率を記入して下さい。

3) リサイクルによる再資源化量（委託先でのリサイクルを含む）

産業廃棄物の種類	R5 年度	R7 年度	R12 年度
(記入例) 廃コンクリート	100%	105%	110%
	100%	%	%
	100%	%	%
	100%	%	%

注) リサイクルによる再資源化量について
 令和5年度の発生量を 100 とした場合の令和7年度及び 12 年度の比率を記載して下さい。
 他の年度で目標値を設定している場合には、その年度と比率を記入して下さい。

4) 埋立処分量の抑制（委託先での最終処分を含む）

産業廃棄物の種類	R5 年度	R7 年度	R12 年度
(記入例) 燃え殻	100%	90%	80%
	100%	%	%
	100%	%	%
	100%	%	%

注) 埋立処分量の抑制について
 令和5年度の発生量を 100 とした場合の令和7年度及び 12 年度の比率を記載して下さい。
 他の年度で目標値を設定している場合には、その年度と比率を記入して下さい。

2. 貴事業場の意識について

1. 貴事業場における産業廃棄物の減量化、再資源化・再利用を推進するための取り組み状況について、該当する記号に○をつけて下さい。

- A. 積極的に取り組んでいる。（設問2へ）
- B. 取り組みの必要性を感じているが、なかなか取り組めないでいる。（設問3へ）
- C. これまで必要性を感じていなかったが、今後は取り組んでいきたい。（設問2へ）
- D. 今後も特に取り組む予定はない。（設問3へ）

2. 上記で A 又は C と回答された場合は、以下の取り組み内容について該当する記号すべてに○をつけて下さい。また、下表に取り組みの内容を具体的に記入して下さい。

- A. 産業廃棄物の減量化・再資源化の計画（環境報告書等）策定による減量化等の計画的推進
- B. 減量化、再資源化・再利用の目標値の設定
- C. 社員教育の徹底
- D. 産業廃棄物の分別の徹底
- E. 減量化、再資源化・再利用に係わる技術開発の推進
例）使い捨て製品の製造販売自粛や過剰包装の自粛、製品の長寿命化、再生品の製品開発
例）全生産段階における LCA※1 の実施 など
- F. 減量化、再資源化施設の整備
- G. 原材料としての再資源化の積極的利用
- H. 業界、異業種間における産業廃棄物の有効利用に関する調査研究活動への参画
- I. 製品・サービスに係る環境負荷についての情報提供
- J. その他（ ）

※1：LCA とは、ライフサイクル・アセスメント(Life Cycle Assessment) のことで、1 つの製品の原料が採掘される段階から、製造、輸送、使用、廃棄されるすべての段階において、環境への影響（エネルギーや CO2 の量 等）を評価する方法のことです。

今までの取り組み	○ 基本方針、管理規程及び行動指針の策定、取り組み事例 等
今後の取り組み	

※ 参考資料がありましたら、御恵与いただければ幸いに存じます。

3. 拡大生産者責任【EPR】※2 についてどのように考えますか。該当する記号に○をつけて下さい。

※2：拡大生産者責任とは、使用後の製品回収や再資源化の費用を、製品コストとして生産者に負担させる考え方です。製品に加わったコスト削減のため、生産者に環境負荷が少なく再利用できる製品の開発や普及を促し、ごみ減量や再資源化を進めます。製品の使用が終わったあとまで生産者責任を拡大するので拡大生産者責任と呼ばれています。

- A. 当然の考え方であり、積極的に対策に取り組んでいる。
- B. 当然の考え方と思うが、なかなか取り組めないのが現状である。
- C. 考え方に共感は持てないが、今後対策には取り組んでいきたい。
- D. 考え方に共感が持てず、今後も特に対策を行う予定はない。

3. 環境マネジメントシステム（ISO14001 及びエコアクション 21 等）について

1. 環境マネジメントシステム（以下、「EMS」という。）（ISO14001※3 及びエコアクション 21※4 等）について、該当する記号に○をつけて下さい。

※3：「ISO14001」とは、国際標準化機構（ISO）が定めた「環境管理」、「環境監査」等を含めた環境マネジメント規格と呼ばれるもので、企業や団体が活動を行う際に、環境に対する負担を軽減する活動を継続して実施するための仕組みを規定している国際規格です。

※4：「エコアクション 21」とは、環境省が策定した中小企業を主な対象とした環境マネジメントの規格です。

- A. 認証を既に受けている（該当する規格に○をつけてください。）
（ ISO14001 エコアクション 21 その他（具体名： ） ） （設問 2、3 へ）
- B. 認証取得のため検討中である。
- C. 内容は知っているが、認証を取得する予定はない。
- D. 内容は知らなかったが、認証取得に興味がある。
- E. 聞いたことはないし、認証を取得する予定もない。

2. 上記の1でAと回答された場合は、以下の内容について該当する記号に○をつけて下さい。
- A. EMS の取得により、廃棄物の減量化、リサイクル及び処理が適正に行われるようになった。
 - B. EMS を取得したが、廃棄物の減量化、リサイクル及び処理については特に変化はない。
 - C. その他（ ）

3. EMS の実施について、上記の1でAと回答された場合、該当する記号に○をつけて下さい。
- A. EMS の実施意義と効果に満足しているので、今後も継続する。
 - B. EMS の実施意義は理解できるが、費用コスト・作業に負担があるため、継続中止を検討している。
 - C. EMS の実施効果に満足せず、費用コスト・作業に負担があるため、継続中止を検討している。

4. 委託処理費用について

産業廃棄物の処理を処理業者に委託している場合の委託費用（料金）を記入して下さい。1 トン又は1 m³又は1 リットル当たりの委託費用を記載して下さい。なお、産業廃棄物の種類が多岐にわたる場合は、排出量の多い種類を記入してください。

廃棄物の名称と種類 (種類は欄外から記号で記入)			単位内容 (該当する番号を○で囲む)	処理費用 (千円未満切捨て)				処理区分
	廃棄物の名称	記号の種類	1. 1トン当たり 2. 1m ³ 当たり 3. 1リットル当たり	十 万	万	千	千 円	1. 収集運搬 2. 中間処理 2a 焼却, 2b 脱水, 2c 破碎, 2d 中和, 2e 油水分離, 2f 堆肥化, 2g その他 3. 最終処分
例	汚 泥	B	(1) 2. 3.			8	千円	(1) 2a 2b 2c 2d 2e 2f 2g 3.
例	汚 泥	B	(1) 2. 3.		1	0	千円	1. 2a (2) 2c 2d 2e 2f 2g 3.
1			1. 2. 3.				千円	1. 2a 2b 2c 2d 2e 2f 2g 3.
2			1. 2. 3.				千円	1. 2a 2b 2c 2d 2e 2f 2g 3.
3			1. 2. 3.				千円	1. 2a 2b 2c 2d 2e 2f 2g 3.

廃棄物の種類の記号

- A. 燃え殻 B. 汚泥 C. 廃油 D. 廃酸 E. 廃アルカリ F. 廃プラスチック G. 紙くず H. 木くず I. 繊維くず
J. 動植物性残さ K. 動物系固形不要物 L. ゴムくず M. 金属くず N. ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず
O. 鉱さい P. 工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたコンクリートの破片その他これに類する不要物 Q. 動物のふん尿
R. 動物の死体 S. ばいじん T. 感染性廃棄物

5. 自社処理施設の状況について

貴事業場に施設許可対象外（次頁表以外の施設）の産業廃棄物処理施設がある場合、以下の事項を記入して下さい。なお、施設が多岐にわたる場合は、処理量の多い施設を記入してください。

中間処理施設（焼却、脱水等）

施設の種類の	処理能力	設置年月日
（記入例）汚泥の脱水施設	5m ³ /日	H12.5.10

最終処分場

処分場の種類	設置年月日	埋立地の面積	埋立地の容量	残余容量	残余年数 (あと何年持ちますか)
（記入例）安定型	H7.6.9	100m ²	300m ³	100m ³	2年

表「施設許可が必要な産業廃棄物処理施設一覧」

処 理 施 設 名	規 模
汚泥の脱水施設	・処理能力 10m ³ /日を超えるもの
汚泥の乾燥施設	・処理能力 10m ³ /日を超えるもの
汚泥の天日乾燥施設	・処理能力 100m ³ /日を超えるもの
汚泥の焼却処理	・処理能力 5m ³ /日を超えるもの ・処理能力 200kg/時間以上のもの ・火格子面積が 2m ² 以上のもの
廃油の油水分離施設	・処理能力 10m ³ /日を超えるもの
廃油の焼却施設	・処理能力 1 m ³ /日を超えるもの ・処理能力 200kg/時間以上のもの ・火格子面積が 2m ² 以上のもの
廃酸・廃アルカリの中和施設	・処理能力 50m ³ /日を超えるもの
廃プラスチック類の破碎施設	・処理能力 5 t/日を超えるもの
廃プラスチック類の焼却施設	・処理能力 100kg/日を超えるもの ・火格子面積が 2m ² 以上のもの
木くず、又はがれき類の破碎施設	・処理能力 5 t/日を超えるもの
金属類等を含む汚泥のコンクリート固型化施設	・すべて
水銀又はその化合物を含む汚泥のばい焼施設	
汚泥、廃酸又は廃アルカリに含まれるシアン化合物分解施設	
廃石綿等又は石綿含有産業廃棄物の熔融施設	
廃PCB等、PCB汚染物又はPCB処理物の焼却施設	
廃PCB等又はPCB処理物の分解施設	
PCB汚染物又はPCB処理物の洗浄施設又は分離施設	・処理能力 200kg/時間以上のもの ・火格子面積が 2m ² 以上のもの
産業廃棄物の焼却施設（上記の焼却施設を除く）	
遮断型最終処分場 安定型最終処分場 管理型最終処分場	・すべて ただし、平成9年11月30日以前に設置された安定型及び管理型の最終処分場については、次のとおりです。 ・安定型最終処分場：埋立面積 3000m ² 以上 ・管理型最終処分場：埋立面積 1000m ² 以上

6. 代替素材の利用について

貴社において代替素材を使用・検討していますか。使用・検討していれば、具体的に記入をお願いします。

製品名	代替素材
（記入例） ストロー 買い物袋 プラスチック容器	プラスチックストローから紙製ストローに変更した。 買い物袋を紙製に変更した。 バイオプラスチック製品の開発を検討している。

～設問は以上です。ご協力ありがとうございました。～